

# JA やさと

## 1. 基本的事項

### (1) 概要（令和4年7月31日現在）

- ①名 称 ・ やさと農業協同組合
- ②所 在 地 ・ 茨城県石岡市柿岡3236番地6
- ③設立年月日 ・ 昭和40年2月1日
- ④地 区 ・ 石岡市（旧八郷町）
- ⑤組 合 員 数 ・ 正組合員 3,795名  
・ 准組合員 1,184名
- ⑥役 員 数 ・ 24名（理事 19名・監事 5名）
- ⑦職 員 数 ・ 120名（男 84名・女 36名）

### (2) 主な農畜産物

【 米 】 コシヒカリ

【野 菜】 有機野菜・きゅうり・さやいんげん・かぼちゃ

【果 実】 梨・苺・柿

【花 卉】 チューリップ・トルコギキョウ・バラ

【畜産物】 鶏卵・肉牛・肉豚

【その他】 納豆・カット野菜

令和4年4月1日現在

【銘柄産地指定品目】 ①梨

### (3) 子会社名と事業の内容

子会社名： やさと菜苑株式会社

（主な事業内容：農業経営）

## 2. 歴代常勤役員（理事・監事）

### (1) 組合長

- ①平成23年4月～平成29年4月 川 井 貞 夫
- ②平成29年4月～令和 2年4月 浅 野 建 二
- ③令和 2年4月～ 神 生 賢 一

## (2) 専務

- |                  |         |
|------------------|---------|
| ①平成23年4月～平成26年4月 | 廣 瀬 正 稔 |
| ②平成26年4月～平成29年4月 | 浅 野 建 二 |
| ③平成29年4月～令和 2年4月 | 神 生 賢 一 |
| ④令和 2年4月～        | 廣 澤 和 善 |

## (3) 常務（金融担当）

- |                  |         |
|------------------|---------|
| ①平成28年4月～令和 2年4月 | 友 部 文 夫 |
| ②令和 2年4月～        | 吉 岡 進   |

## (4) 理事金融部長

- |                  |         |
|------------------|---------|
| ①平成21年4月～平成28年4月 | 友 部 文 夫 |
|------------------|---------|

## (5) 常勤監事

- |                  |         |
|------------------|---------|
| ①平成23年4月～平成26年4月 | 高 橋 進   |
| ②平成26年4月～平成29年4月 | 廣 瀬 憲 一 |
| ③平成29年4月～令和 2年4月 | 金 関 榮 一 |
| ④令和 2年4月～        | 廣 瀬 憲 一 |

## 3. 事業の推移（概況）

### (1) 地域農業振興の取り組み

#### 【青果物】

JAやさと管内は、筑波山系に囲まれた盆地であることから平坦で広大な農地の確保が難しい土地柄です。そのため、古くから農業と畜産が盛んにおこなわれ、農業においては多種多様な作物が栽培されています。

特に消費者の健康志向の高まりを背景に、安心安全な農産物を生産するため平成9年に有機栽培部会が設立されました。しかし、近年では消費者ニーズの変化に合わせて生産体制を変えることが必要となってきました。

そのような状況の中、平成10年からの有機栽培技術の指導を機にJR東日本の子会社（株）日本レストランエンタプライズ（以下、NRE 現在のJR東日本クロスステーション）との取引が始まり、駅構内のレストラン等の店舗用の業務用野菜の生産に力を入れていくことになりました。

その取り組みが本格的な形となったのが平成29年6月の野菜カットセンターの稼働開始です。長ねぎ・玉ねぎを中心に作付けを拡大し、地域農業振興と農業者の所得増大へ貢献してきました。

現在では日量約2トンの加工野菜が出荷されています。

また、出荷取引以外の面においても関係を強めており、令和元年5月にはNREによる出張青空レストランが開催され、野菜生産者やJA職員に、やさとの野菜が使用された天ぷらそばがふるまわれました。令和3年10月には（株）JR東日本クロスステーションの新入社員の研修会が行われ、カットセンターの見学や長ねぎ生産者の圃場での土寄せなどの体験も行われました。



令和4年7月のJR東日本クロスステーション社員との交流会 産直課にて



カットセンター内での加工の様子

カットセンター向けの野菜では玉ねぎの生産拡大の取り組みの一環として、生産者への栽培のサポートも行ってきました。JAで播種作業や定植用の機械の貸し出し等も行い、組合員に新たに取り組んでもらいやすくなるように工夫しています。その結果、栽培面積は10<sup>ヘクタール</sup>を超えました。

新たな品目としてJAが力を入れて取り組んできたのが加工用ショウガです。これは全農を通して（株）マナカ商事との契約栽培となっており、主におろしショウガ用の原料として使われています。平成26年に作付けが始まり、当初は生産者5名で0.5<sup>ヘクタール</sup>ほどでしたが、JAで重点品目として作付けを推進したこともあり、令和3年度には生産者65名で8.8<sup>ヘクタール</sup>にまで拡大しました。

また、JAの担当から積極的に声をかけた結果、それまで農業をしていなかった方もショウガ栽培に取り組むようになりました。そうすることで、地域農業の担い手の確保にもつながればと取り組んでいます。



ショウガ目揃え会 JA職員による収穫時の説明



ショウガの生産者

平成4年から連続して銘柄産地指定を更新し続けている八郷地区の梨は、約70畝の面積で「幸水・豊水」を中心に栽培されています。京浜市場の関係者から「黄箱のやさと梨」として高い評価を得ています。

近年は、降ひょうや晩霜などの自然災害が多く、生産者の高齢化も進み、厳しい栽培環境が続いています。



贈答用の「ありのみ」

そのような中、新しい取り組みとして高品質梨ブランド「ありのみ」があります。これは、JAやさと・JA新ひたち野・筑波大学・県・市が連携して石岡市産の梨のブランド力向上に取り組みました。

光センサーによる糖度測定や大玉の選別、筑波大生によるパッケージデザインなど各方面の協力のもと立ち上げたプロジェクトです。平成29年に石岡市ありのみ協議会が設立され、それぞれの農協の梨部会の有志メンバーが参加しました。



糖度測定器での選果の様子

平成28年より出荷が始まった茨城県オリジナル品種「恵水」のブランド力強化を目指し、県南地区のJA（JA水郷つくば、JA新ひたち野、JAやさと、JA竜ヶ崎）が共同して取り組んできました。

梨と並び八郷地区の代表的な果樹である柿は、昭和30年より毎年皇室に富有柿を献上していることでも有名です。この献上柿を求める一般の声が多く挙げられて

いたことから、「紫峰煌（しほうのきらめき）」というあらたなネーミングでJAタウンにて販売を開始しました。この紫峰煌は、皇室への献上柿と同等の基準で厳選した富有柿（松本早生富有又は富有）を化粧箱に詰めたもので、贈答用に人気があります。



化粧箱入りの「紫峰煌」

### 【産直事業への取り組み】

昭和51年に東都生協とのたまご、鶏肉、生しいたけの産直取引を皮切りに、以後出荷品目の拡大や納豆工場の建設、有機栽培部会の設立など新たな取り組みの拡大を続けてきました。

そのような中で、都会の消費者である生協の組合員との交流事業は、農業体験や産地訪問、生協の配送センターで行われるイベントへの参加などさまざまな形で活発に行われてきました。

平成元年に始まった米作り体験もそのうちのひとつです。30年以上にわたり継続されているこの取り組みは、開催当初から参加し続けている熱心なファンもいるほどで、今では孫の世代まで体験に訪れています。

そして産直事業が広がりを見せていくなか、取引先は広がり、複数の生協との取引へと発展していきました。JAでは、これらの生協の組合員さんを朝日里山学校（石岡市小桜地区）に迎えて、JAやさとの農畜産物を購入していただいている消費者への感謝を込めた収穫祭「里山まつり」を平成28年より開催しています。また、平成28年はJAやさが産直を始めて40周年となる節目の年にあたり記念式典が開催されました。



40周年記念式典で挨拶する生産者



収穫祭でのさつまいも収穫体験

## 【新規就農支援制度と地域貢献活動】

石岡市八郷地区は人口が減少している地域で、農家の高齢化も進み、地域農業の継続には新たな担い手の確保が重要な課題となっています。この課題の解決の一助となっているのが、「ゆめファームやさと」の新規就農支援制度です。

これは、平成11年に開設された有機栽培の研修用農場「ゆめファームやさと」で、全国から有機栽培での新規就農者を募集し、技術習得、独立への支援をJAと行政機関が一体となって行っている制度です。

また、この制度の維持・運営には平成9年に発足した有機栽培部会の存在が大きく関わっています。そして、この制度をモデルにして、平成29年に新規就農者研修農場「朝日里山ファーム」が設立されています。

この施設はNPO法人「アグリやさと」が管理しており、代表の柴山進さんは元JA職員で有機栽培部会とゆめファームやさとの設立に大きく関わった方です。

また、平成27年から6年間にわたり「やさと農業塾」も開催されました。これは、八郷地区在住で農業初心者の方を対象に、無料で実践的な農業が学べる講座です。

上記のゆめファームやさたと朝日里山ファームのほかに、より実践的な仕組みとしての就農支援制度がJAの子会社やさと菜苑(株)での研修生の受け入れ制度です。

同社は地域農業の活性化と農業担い手育成を目的に平成24年に設立されました。現在までに13人が独立・就農している同制度は、働きながら農業技術が学べる仕組みとなっています。同社では茨城県立農業大学校などから短期間の農業派遣実習生も積極的に受け入れています。

また、同社は障がい者の自立を支援し就労をサポートするNPO法人「どんぐりころころ しいのみ」との農福連携による地域雇用の創出にも努めています。



有機栽培部会生産者の集合写真 ゆめファームやさとにて



開園式典で石岡市長からクワを受け取る研修生



働きながら農業を学ぶ  
やさと菜苑（株）の研修生



やさと菜苑（株）で学ぶ  
農業大学校からの実習生

### 【量販店との取り組み】

茨城県内中心に関東地方に200店弱の店舗数を展開する（株）カスミとの取引が始まったのが平成19年です。最初は石岡中央店との取引が始まり、その後取引店が増え、大穂店、岩瀬店、神立店、桜店が加わり、令和4年現在では5店舗に拡大しました。

店舗にはJAやさとの専用コーナーを設置していただき、JAの従業員が直接店舗に配送し、店の棚にも陳列していくという方式です。そのため、手間はかかりますが、その分鮮度の良い品物を届けることができ、その管理にも目が行き届くので、お客様から好評を得ています。



カスミ石岡中央店開設9周年記念イベント

また、高級スーパー「紀ノ國屋」西荻窪店店頭でJAやさとコーナーの販売も平成29年より行っています。もともと、JAやさとではJR東日本の子会社との取引があり、同店オープン以前から同じ場所で販売を行っており、固定客がつくほど人気がありました。そのため、紀ノ國屋から新たな店舗がオープンしてからも販売継続を依頼され、改めて販売の取組が始まり、現在に至っています。

### 【水田農業】

飼料用米の作付け面積は増加傾向にあり、令和4年度で161<sup>㍉</sup>となっています。また、そのうちの一部は管内の鶏卵農家において、とうもろこしの代替飼料として使用されています。

精米センターにおいては、令和元年より新たに無洗米用の設備を導入し、(株)JR東日本クロスステーションや直売所などに販売しています。

## 【加工品】

### ◆やさとクリスタル

地元特産の「やさとのコシヒカリ」の付加価値向上などを目的に、平成26年に六次化を企画し、日本酒純米大吟醸「やさとクリスタル」の製造プロジェクトを立ち上げ、石岡市高浜の白菊酒造に相談を持ちかけました。

白菊酒造では「地元のコシヒカリを地元の酒蔵で仕込みたい」というJAの想いに応え、共同で製造に乗り出しました。

平成27年4月に販売開始。原料は関東屈指の銘柄米といわれる「やさとのコシヒカリ」茨城県認証特別栽培米を使用しました。さらにJA検査員が食味計で測定を重ね酒造りに相応しい米を厳選しました。

発売初年度は1,400本が2ヵ月ほどで売り切れる人気となりました。



ふるさと ストーリー  
故郷への思い、新しい物語。

石岡市産コシヒカリを使った純米大吟醸

YASATO CRYSTAL  
made from Koshihikari

やさと農業協同組合 × 白菊酒造株式会社  
【企画・販売】 【醸造元】

茨城県認証特別栽培米やさとのコシヒカリ100%使用  
やさとクリスタル 純米大吟醸 (720ml)

### ◆星空のシンデレラ

八郷地区特産の味平かぼちゃを原料にした本格焼酎「星空のシンデレラ」は、平成25年に発売を開始しました。このプロジェクトはやさとグリーンツーリズム協議会、酒造会社の明利酒類（水戸市）や石岡市の協力のもと、全国でも珍しいかぼちゃの焼酎として商品化されました。原料となるかぼちゃの1次加工は、JA職員のほかに、地元の社会福祉施設「しろがね苑」の障がい者にも手伝ってもらい、洗い、カット、へた取り、種取りの作業を行いました。



星空のシンデレラ発売記者会見



星空のシンデレラ



#### 4. 事業成績並びに財産及び損益の状況

(単位：千円、%)

区 分	項 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
財務	事業利益	18,263	54,629	42,569	19,826	7,148	10,622	25,990	-23,808	13,753
	経常利益	61,074	99,539	86,860	58,567	46,579	36,092	55,486	15,278	69,374
	当期剰余金	68,037	84,830	76,321	46,827	103,850	-78,988	56,570	-9,804	74,780
	総資産	53,141,971	54,355,213	52,894,079	52,172,161	53,270,480	52,565,521	51,611,645	52,802,284	54,299,446
	純資産	3,210,292	3,247,233	3,286,755	3,302,948	3,383,762	3,277,871	3,308,218	3,050,769	3,012,536
	単体自己資本比率	18.37	18.57	18.42	18.59	18.12	17.85	17.36	17.16	16.74
信用事業	貯金	48,168,695	49,420,718	480,555,445	47,422,991	48,405,827	47,895,152	47,043,288	48,653,645	49,642,207
	預金	42,152,671	43,724,609	42,529,731	42,037,647	43,440,566	43,856,005	40,176,391	38,245,705	38,760,116
	貸出金	4,804,478	4,916,936	4,761,183	4,456,802	4,149,530	4,080,566	3,709,904	3,521,699	4,845,863
	有価証券	1,614,242	1,371,324	1,253,097	1,244,866	1,221,634	412,634	3,103,392	6,018,339	5,521,281
	うち国債	1,614,242	1,371,324	1,253,097	1,244,866	1,221,634	412,634	317,742	3,347,079	2,895,881
共済事業	長期共済保有高	160,695,386	153,664,385	146,071,354	139,923,050	132,817,123	125,700,314	118,452,742	111,578,661	105,079,561
	短期共済新契約掛金	335,762	332,390	295,031	292,139	290,427	275,792	268,371	268,298	265,640
購買事業	購買品供給高	3,090,822	3,220,395	2,688,390	2,531,514	2,392,575	2,467,910	2,418,209	2,169,981	2,379,211
販売事業	販売品販売高・取扱高	3,784,031	3,623,970	3,611,221	3,584,841	3,594,535	3,476,488	3,305,767	3,337,119	3,719,341
保管事業	取扱高	5,673	5,831	4,800	3,947	3,799	3,493	3,351	2,462	2,756
農産物加工事業	取扱高	321,045	221,683	166,705	154,474	205,627	246,939	278,970	254,196	302,774
生産施設利用事業	取扱高	146,136	146,856	131,564	142,606	166,627	143,053	177,059	161,625	149,789
各種事業	取扱高	431,597	411,577	392,935	444,877	460,107	474,180	506,035	457,364	433,489
生活関連事業	取扱高	426,533	440,829	456,758	432,188	401,019	336,537	348,660	236,703	228,759
その他農業関連事業	取扱高	47,020	45,071	44,627	43,756	40,510	36,333	33,771	38,226	35,546